



MITSUI CHEMICALS, INC.

三井化学

「経営概況」説明会

—— 2011年11月8日 ——

MITSUI CHEMICALS, INC.

社長 田中 稔一

 アジアを中心にグローバルに
存在感のある化学会社へ 

— **業績説明** —

1、2011年度上期決算と下期見通し

— **中期経営計画の進捗** —

2、“5-5-5戦略”の進捗状況

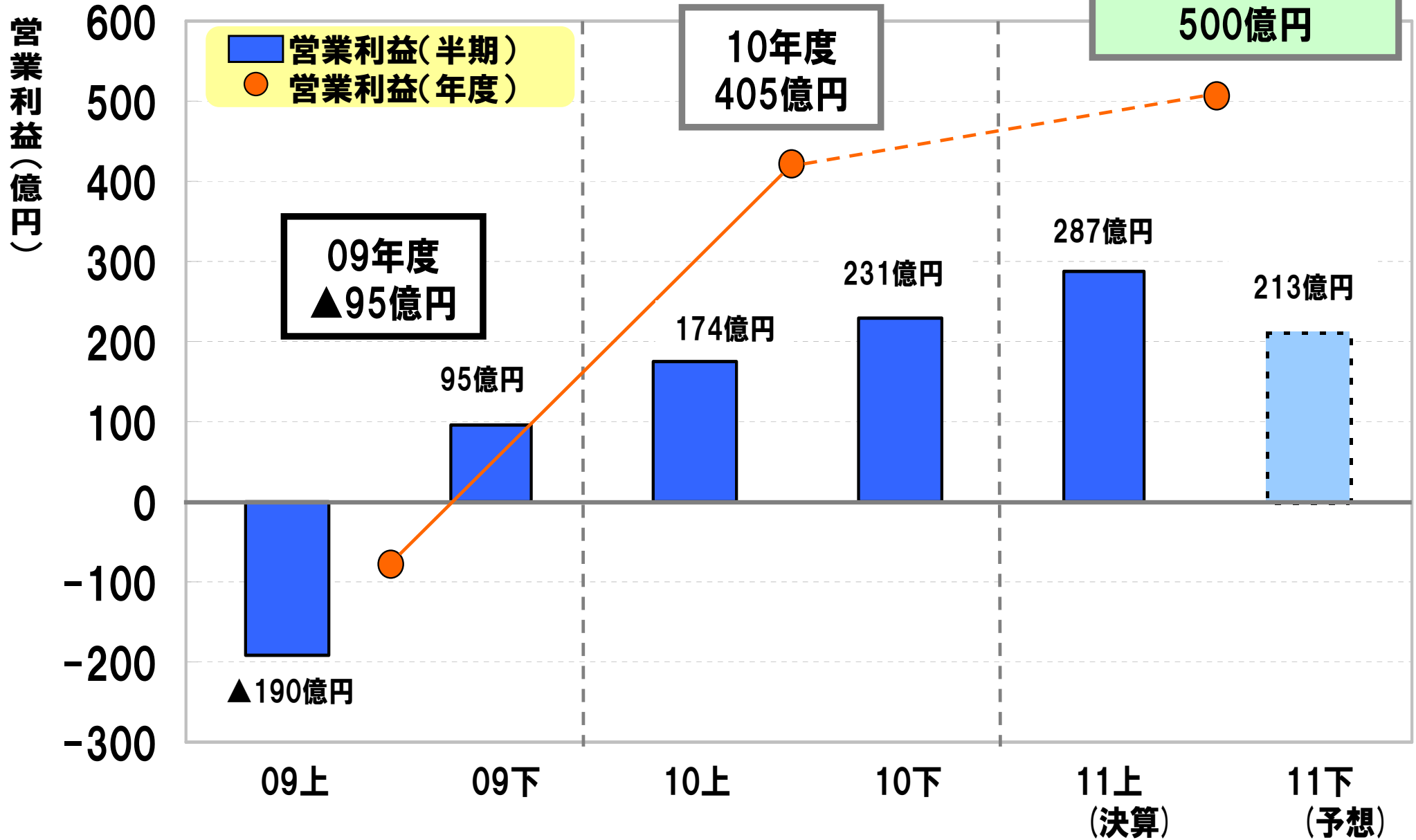
3、11中計達成に向けて

'11年度上期決算と年度見通し

(単位:億円)

摘要	10年度		11年度見通し		対前年度	
	4-9月	年度	4-9月決算	年度見通し	4-9月	年度
売上高	6,728	13,917	7,558	15,100	830	1,183
営業利益	174	405	287	500	113	95
営業外損益	△ 28	△ 16	△ 8	10	20	26
経常利益	146	389	279	510	133	121
特別損益	110	61	△ 1	△ 20	△ 111	△ 81
当期純利益	171	249	134	260	△ 37	11
参考:当期純利益 (除 退職給付引当金戻入額 10年度146億円)	25	103	134	260	109	157
為替レート(円/\$)	89	86	80	79	△ 9	△ 7
国産ナフサ(円/KL)	46,200	47,500	57,000	54,000	10,800	6,500

営業損益推移



 アジアを中心にグローバルに
存在感のある化学会社へ 

— **業績説明** —

1、2011年度上期決算と下期見通し

— **中期経営計画の進捗** —

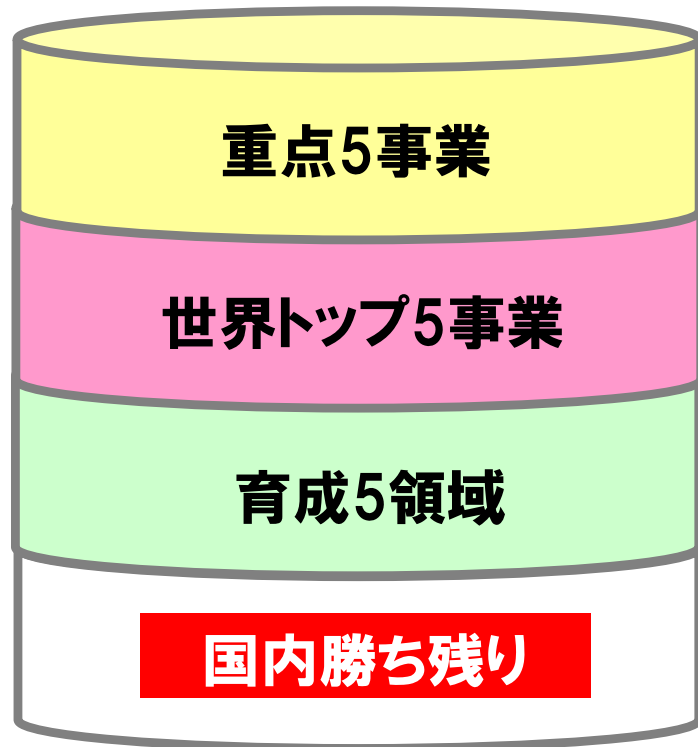
2、“5-5-5戦略”の進捗状況

3、11中計達成に向けて

11中計の基本戦略「5-5-5戦略」

- あるべき姿 -

- ◆成長性と永続性を実現する**事業ポートフォリオの構築**
- ◆**アジアを中心にグローバルに存在感のある化学会社**



景気変動を受け難い事業の拡大

- ・戦略的M & Aによる機能化学品拡大

競争優位事業のグローバル拡大

- ・有力パートナーとの連携、競争力ある原料の確保

将来のコア事業創出

- ・R & D資源の集中化・効率化、ビジネスモデル構築

徹底的なコストダウンと抜本的な再構築

- ・ウレタン原材料の事業再構築、コストダウン

2011年度は、「11中計初年度」にあたる重要な年

⇒11中計戦略を一層「加速」する

「5-5-5戦略」の進捗状況

重点5事業

1. 精密化学品

- 医療用接着剤の開発

2. 農業化学品

- 農薬事業
タイ、ブラジルへの出資
- 肥料原料(ブルネイ計画)

3. 機能フィルム・シート

不織布

- ソーラーエバ増強
マレーシア S社と合併
- 中国 不織布新設

4. コーティング・接着剤

- 中国 システムハウス新設

5. エンプラ・コンパウンド

- ハイゼックスミリオン増強

世界トップ5事業

1. フェノール・チェーン

- SinopecとのJV(新設)
- アセトン法IPA
- 能力増強
(日本・シンガポール)

2. ポリオレフィン系コンパウンド

- PPコンパウンド

3. エラストマー

- SinopecとのJV計画
(EPT)

4. メタロセンポリマー

- エボリュウ増強

5. メガネレンズモノマー

- メガネレンズモノマー世界戦略
ACOMON社買収シナジー

育成5領域

1. 太陽光発電

- 田原メガソーラー
- 次世代封止シート

2. 電子・情報フィルム

- 電・情フィルムの新製品

3. 次世代機能化学品

- Li電池材料
- 新規農薬
- 新規歯科材料

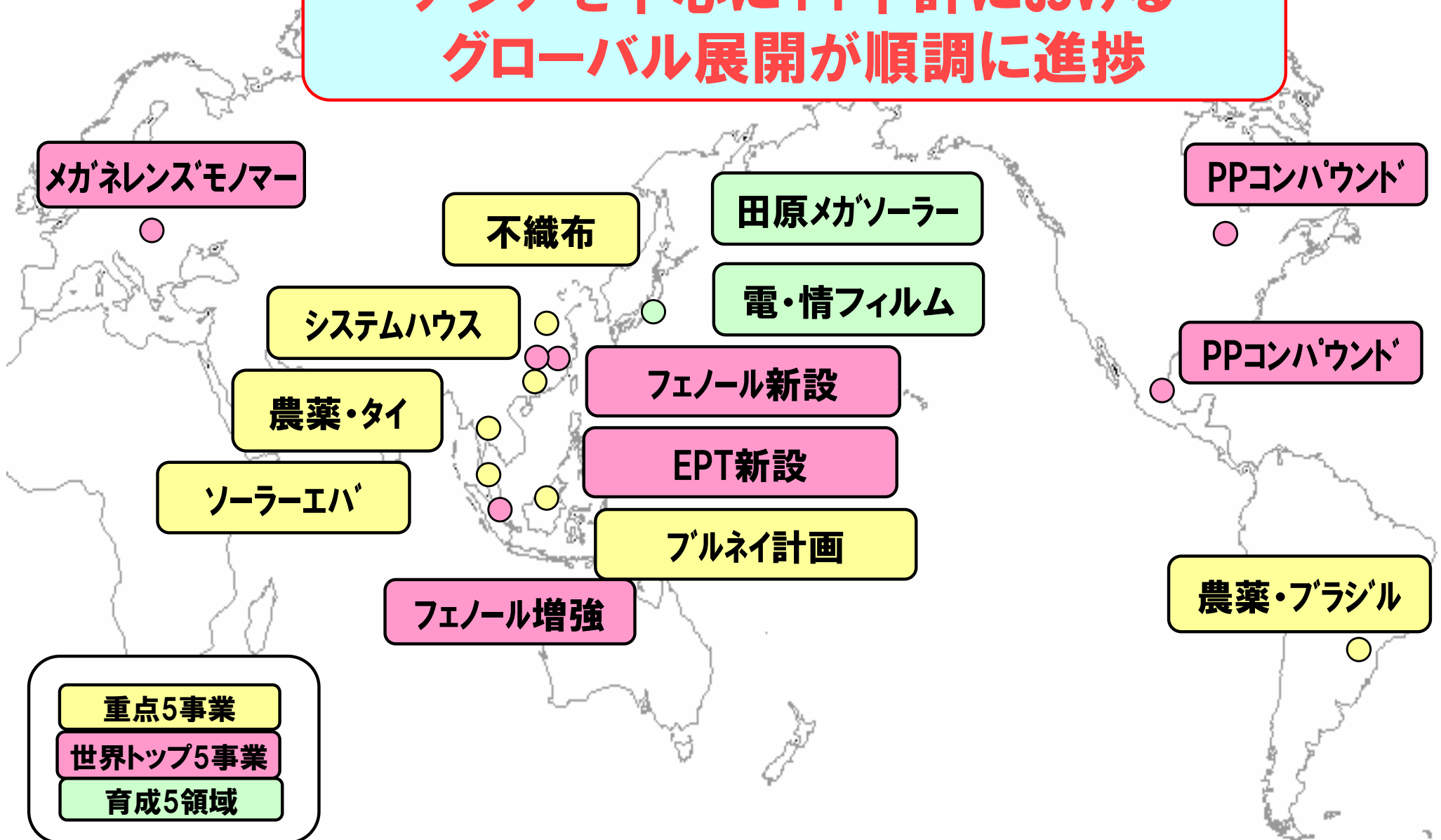
4. エコ自動車材

5. バイオマス化学品

- バイオポリウレタン

(参考)「5-5-5戦略」のグローバル展開 進捗状況

アジアを中心に11中計における
グローバル展開が順調に進捗



重点5事業-1 【農業化学品】農薬事業の海外展開

◆ 原体のグローバル市場での拡販

- ・海外拠点確保
- ・提携の強化
- ・新原体の開発加速

タイ Sotus社への資本参加(11年5月)
 インド・東南アジア地域での
 事業拡大に向けた製造拠点確保

米州・欧州 12年殺菌剤上市予定

ブラジル Iharabras社への
 資本参加(11年9月)
 世界2位の農薬市場であり、今後も高成長が
 期待できるブラジルでの拠点確保

インド 12年殺虫剤上市予定

【Sotus社の強み】

- ・製剤事業、販売網に強み
 (タイ国内2位グループ)
- ・優良な財務基盤

【Iharabras社の強み】

- ・販売網の充実
 (日系農家とのパイプ)
- ・優良な財務基盤

重点5事業-2 【農業化学品】肥料原料の事業拡大(1)

ブルネイ計画の位置づけ



目的

- ① 景気に左右され難い事業の拡大
- ② 農業・食糧分野での事業の拡大
- ③ 競争力ある原料の安定的確保
(アジアでは貴重な競争力ある原料ガス)

ブルネイ計画
(アンモニア・尿素など肥料原料新設)

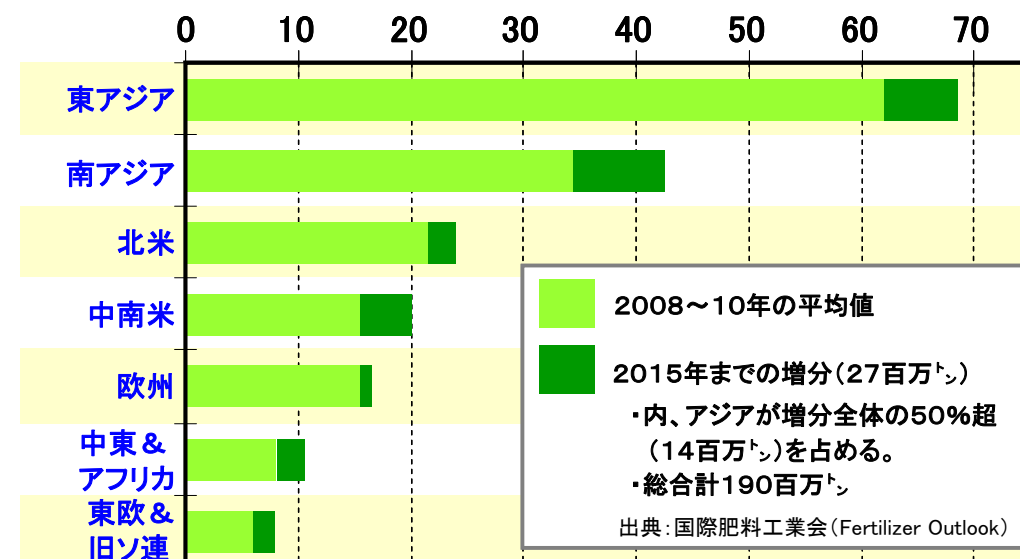
重点5事業-2 【農業化学品】肥料原料の事業拡大(2)

ブルネイ計画の概要

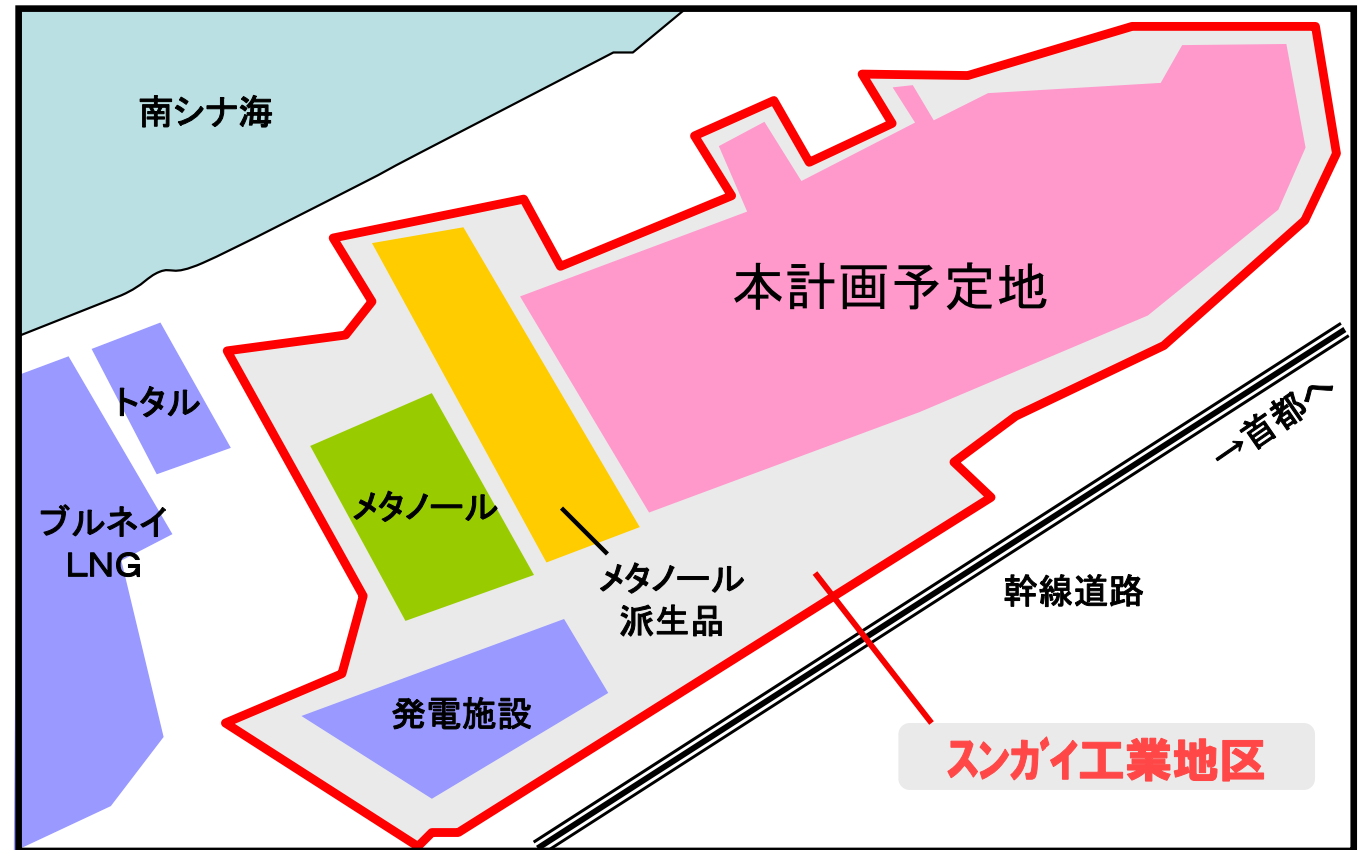
- ◆世界13企業グループ間の国際競争
入札にて**優先交渉権獲得**
- ◆当社と三井物産がメジャーを占める
日本勢主導のプロジェクト
- ◆LNG1,100万トン相当の天然ガス
(**約1,700万トンのアンモニア相当**)
- ◆成長著しいアジア各国と地理的に
近接する**好立地**
- ◆**肥料原料**の事業化を計画中
 - ・アンモニア85万トン & 尿素65万トン
 - ・総投資予定額: 13億USD
- ◆スケジュール(予定)
2012年FS完了 / 2015年完工



地域別の肥料需要量(百万トン/年)



重点5事業-2 【農業化学品】肥料原料の事業拡大(3)



ブルネイ国・スガイ工業地区(S-PARK)の整備済用地(100万㎡)

- 用役等の付帯設備を含め、プロジェクト全体のFIS進行中
- アンモニア、尿素の他、メラミン、DAP(リン酸アンモニウム)、カプロラクタム、硫酸などの製品群の事業化を検討中
- プロジェクト総投資額は、28億USDを予定

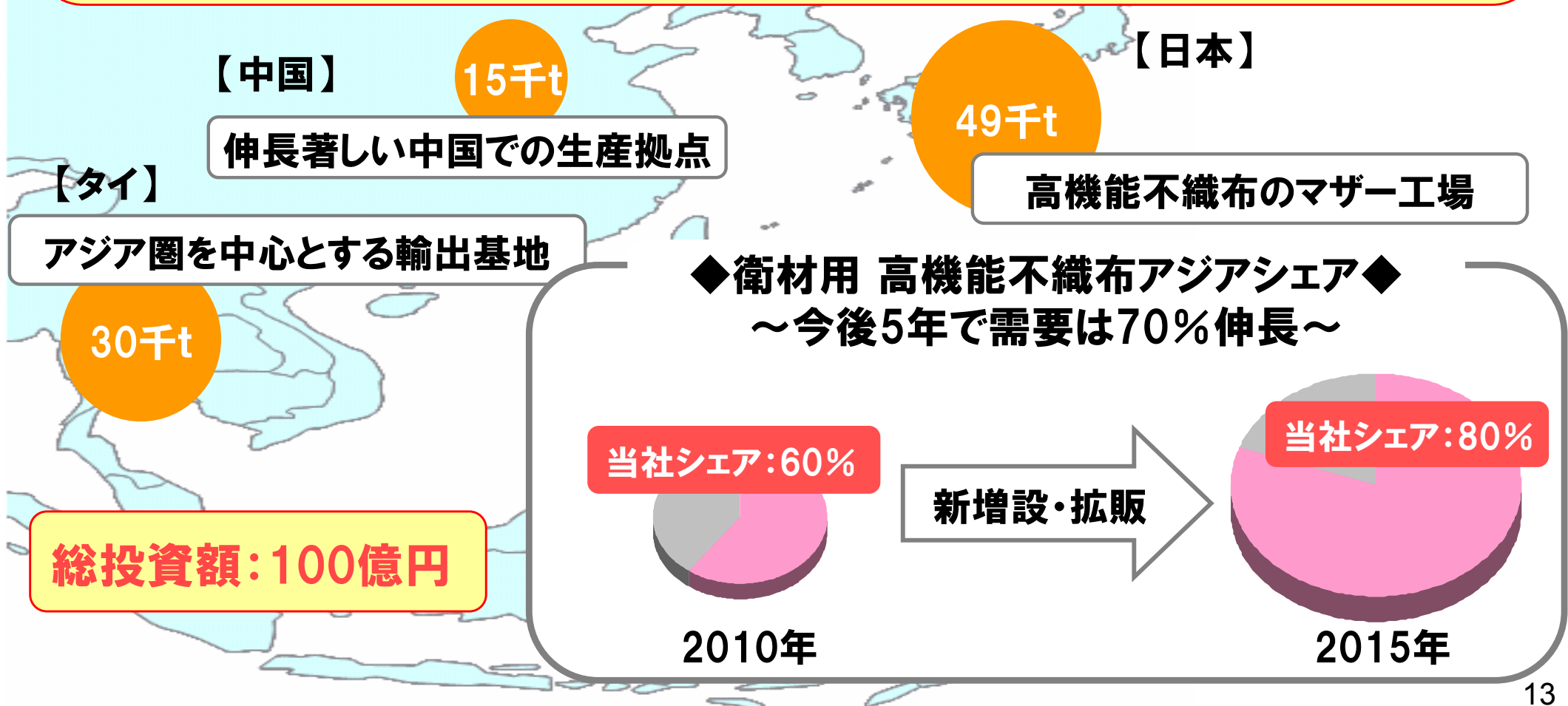
重点5事業-3 【不織布】衛材用 高機能不織布事業の拡大

【中国】高機能不織布の拠点新設(15千t、13年央、投資額50億円)

【日本】能力増強(+15千t、11年末、投資額50億円)

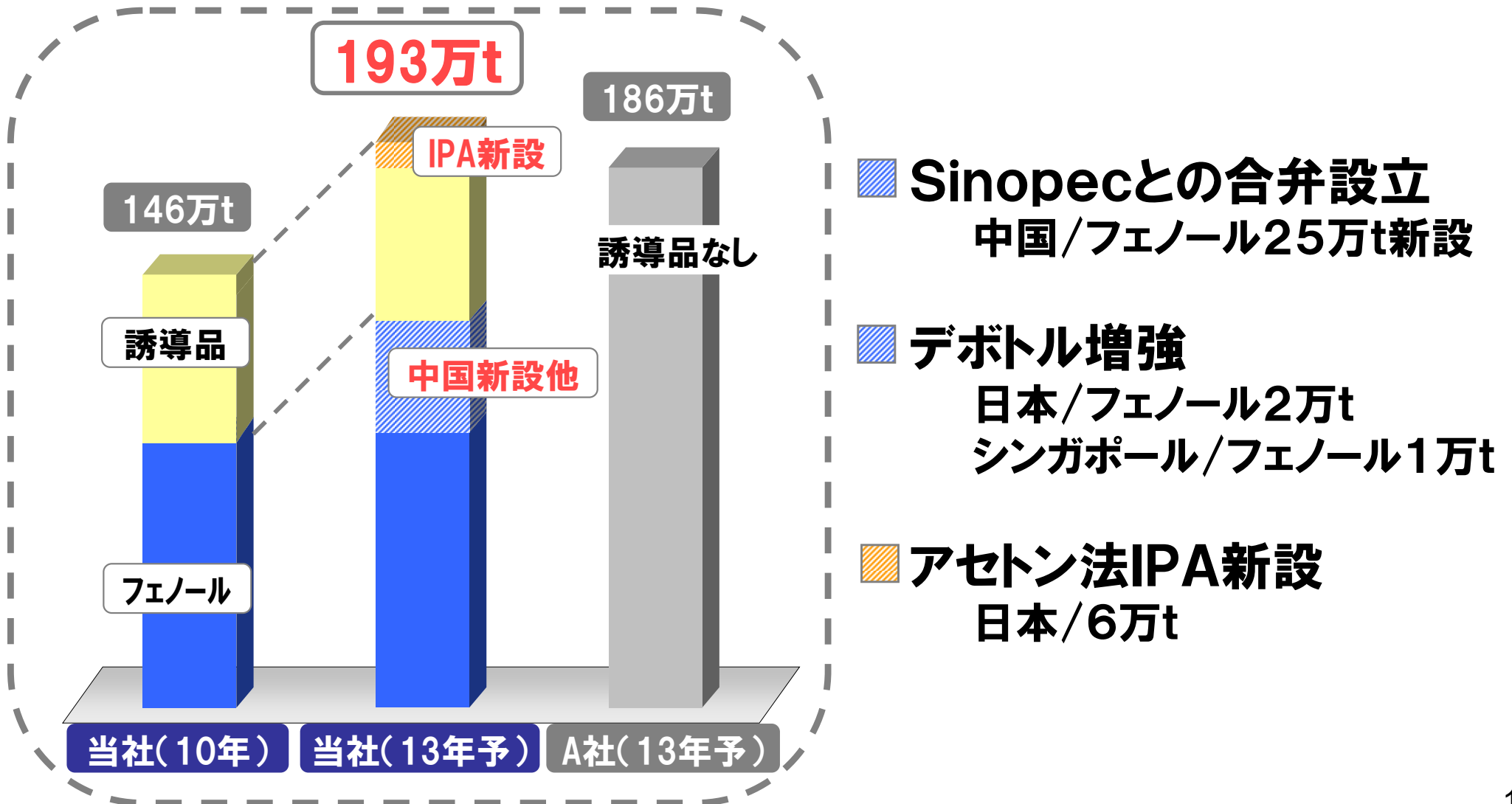
【タイ】30千tフル稼働中

⇒ 3極体制による高機能不織布のアジアシェアNo1強化



世界トップ5事業-1 【フェノール・チェーン】グローバルトップへ(1)

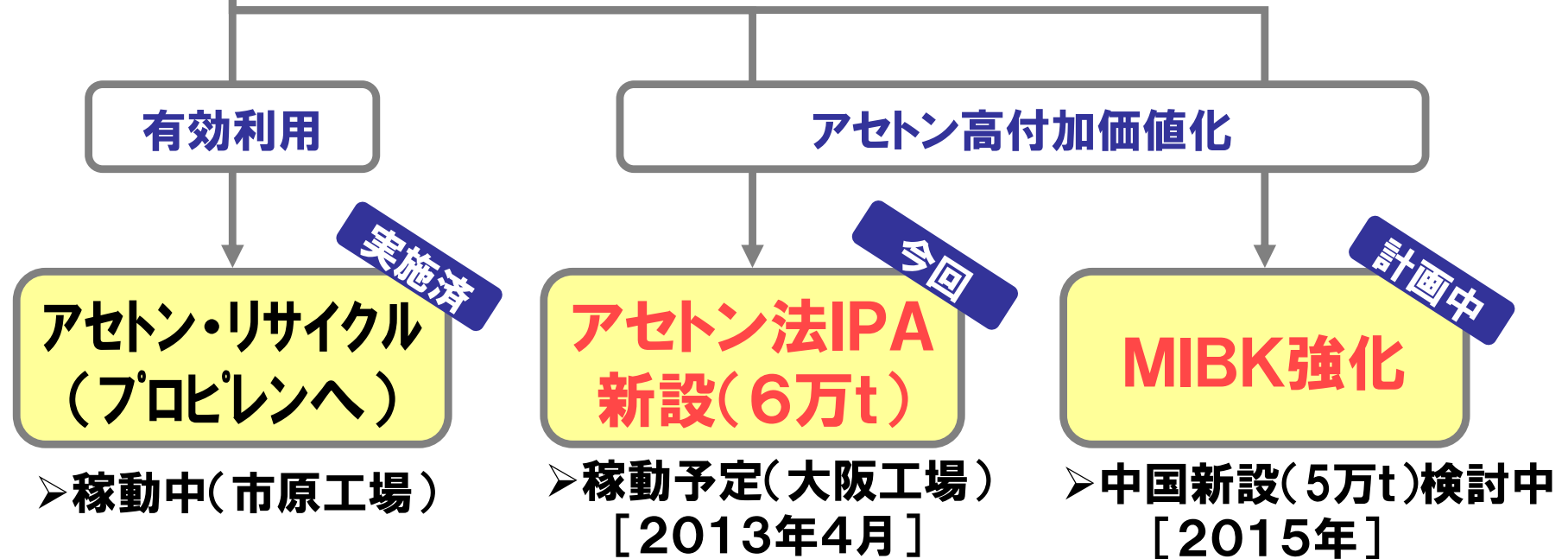
誘導品も含めたフェノール事業の強みを活かし、「グローバルトップ」へ



フェノール事業の競争優位性強化(更なる収益性アップへ)

◆60%副生するアセトンの余剰対策

・フェノール需要伸長(5%)とアセトン需要伸長(4%)の差による
構造的なアセトン余剰拡大



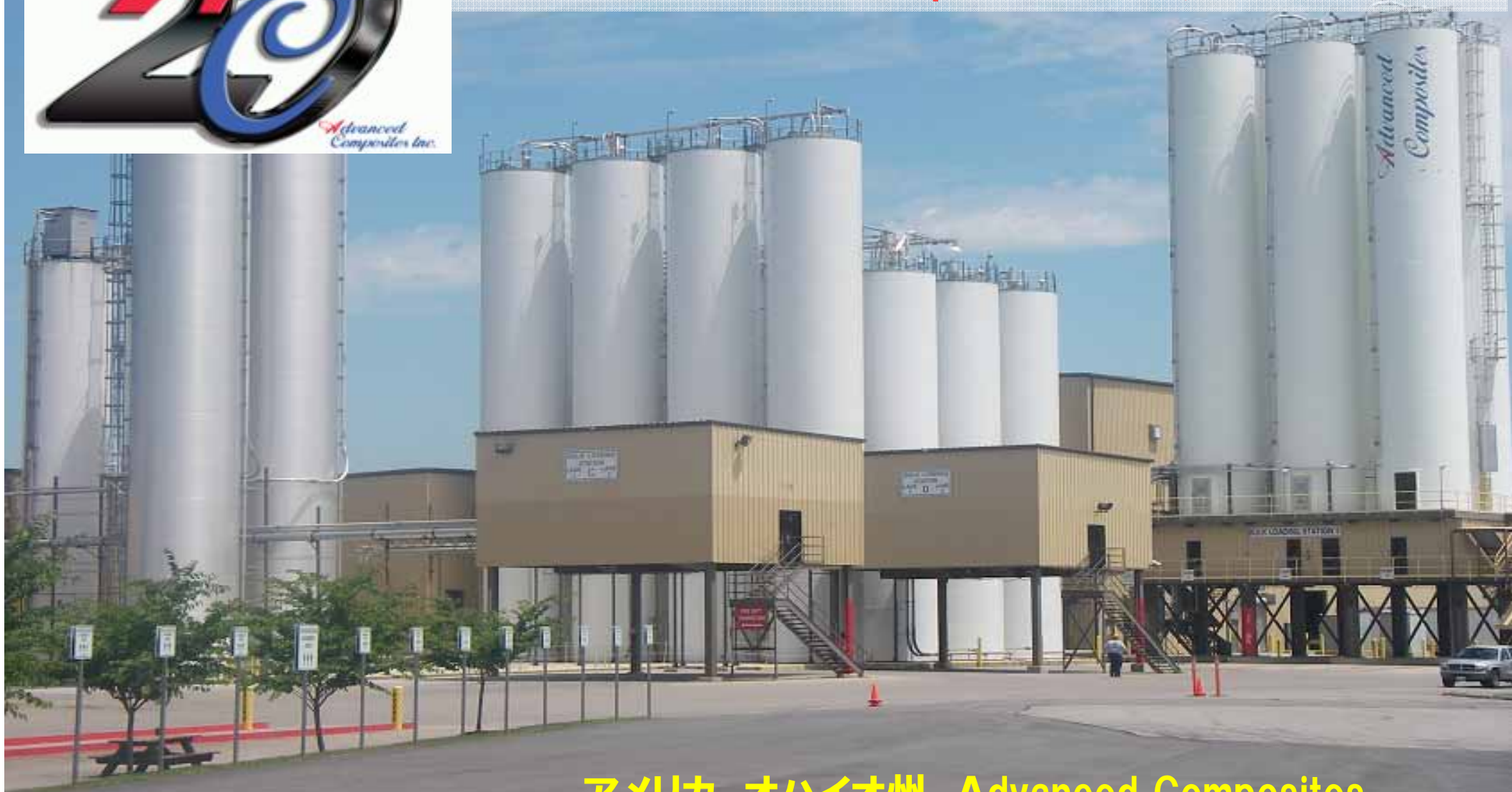
◆独自技術により優位な事業展開

◆更なる技術のブラッシュアップ済

【PPコンパウンド】グローバルトップへ(1)

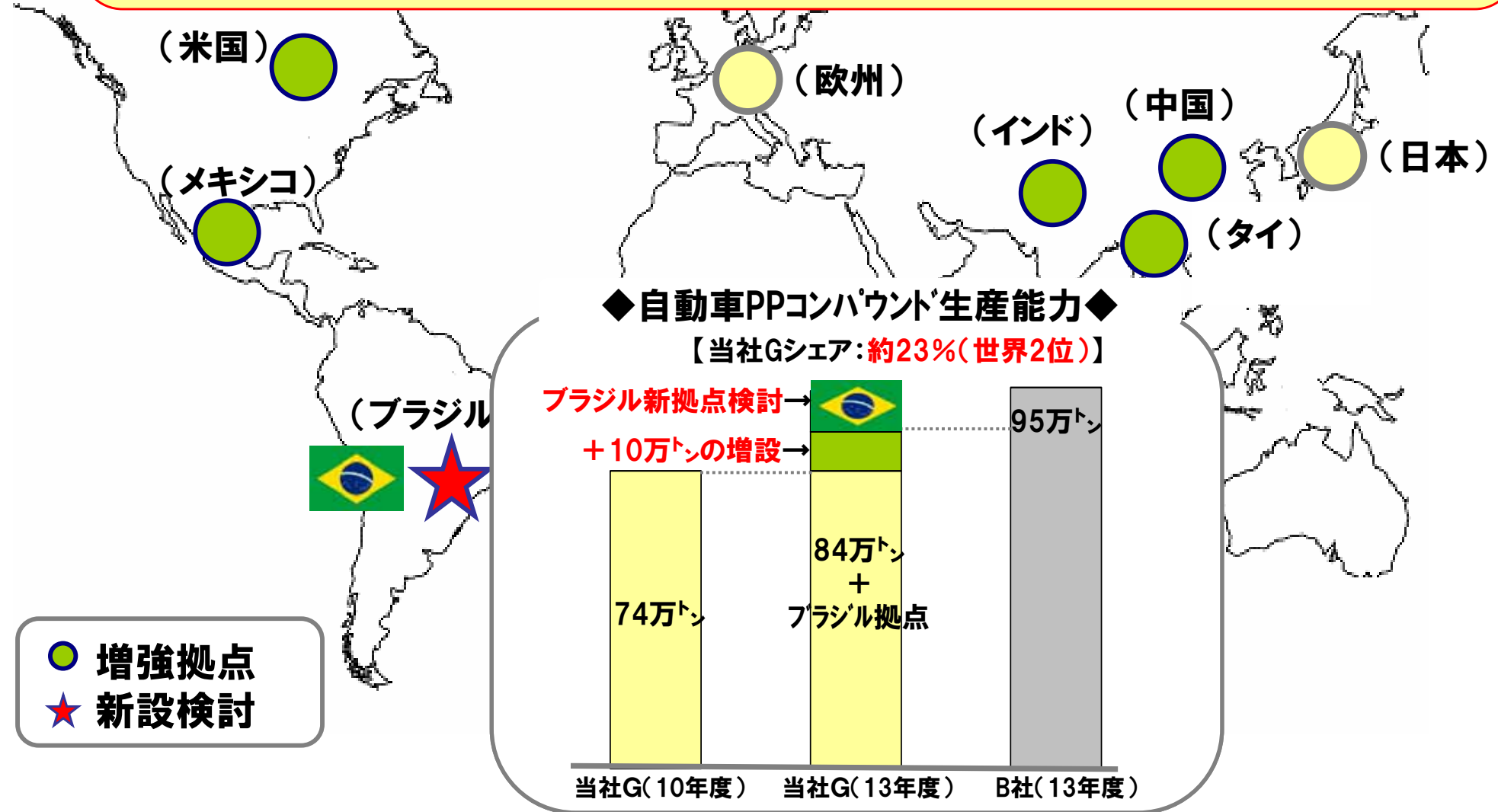


米国Advanced Composites社は設立25周年



アメリカ オハイオ州 Advanced Composites

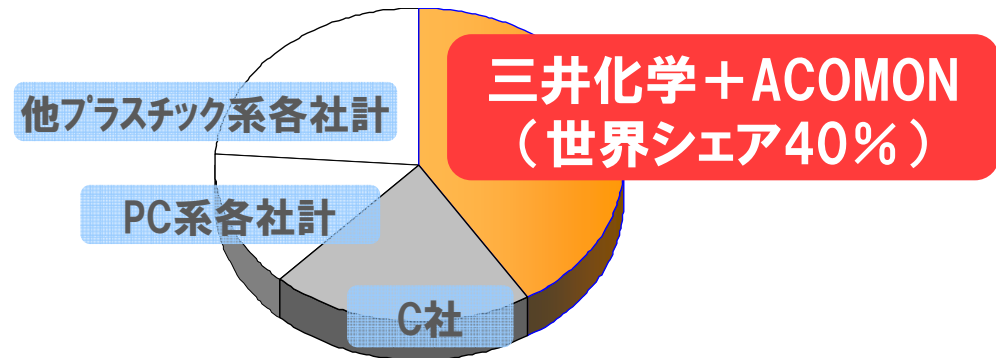
- ◆ 生産能力74万トン(10年)⇒ 84万トン(13年)体制へ増強
- ◆ ブラジル新拠点を12年度設置検討中 ⇒ 世界8極体制へ ⇒ グローバルトップへ向けて一段と加速



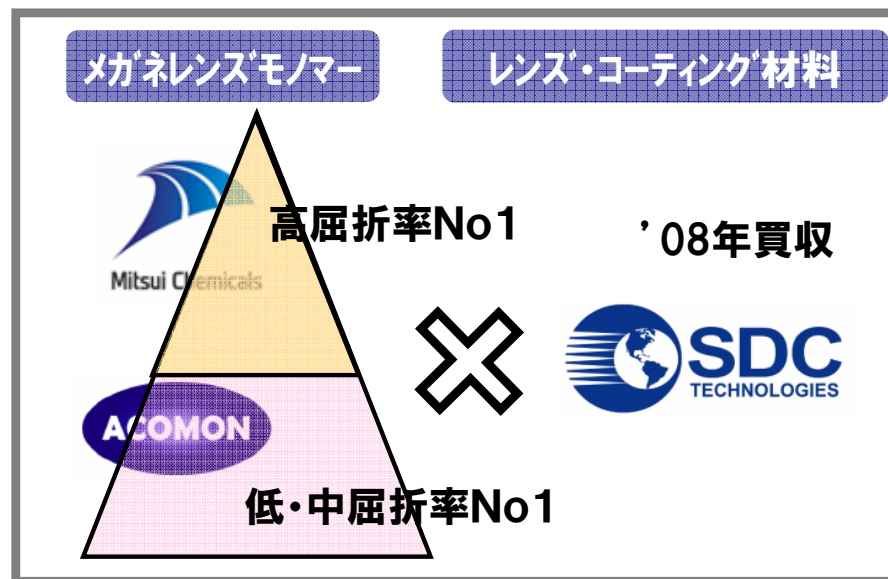
世界トップ5事業-3 【メガネレンズモノマー】世界総合トップへ

◆ 高屈折率分野のニッチトップからレンズモノマー世界総合トップへ

スイス/ACOMON社
買収(4月)



メガネレンズのトータル・ソリューションで、更なるシェア拡大へ



- 製品ラインナップNo1
低屈折率から高屈折率まで世界一のレンズモノマーのラインナップを実現
- 顧客提案力No1
レンズモノマーからコーティング材料まで一貫提案を実現

再生可能エネルギー事業へ参入し、
部材、モジュール、システム開発を促進する

【たはらソーラー・ウインド共同事業の概要】

発電能力 : 太陽光発電 50 MW
風力発電 6 MW

国内最大メガソーラー
(約19,000世帯分の電力に相当)

工期 : 2012年6月着工、2013年9月完工 予定

設置場所 : 愛知県田原市(約82万m²)

総投資額 : 180億円

参加企業 : 三井物産、東亜合成、東芝、東レ、三井造船
中部電力(又はグループ会社)の参加を要請し協議中

■ 当社の再生可能エネルギー貢献部材の一例



◀「ソーラーエバ」
電池セルの保護
シート

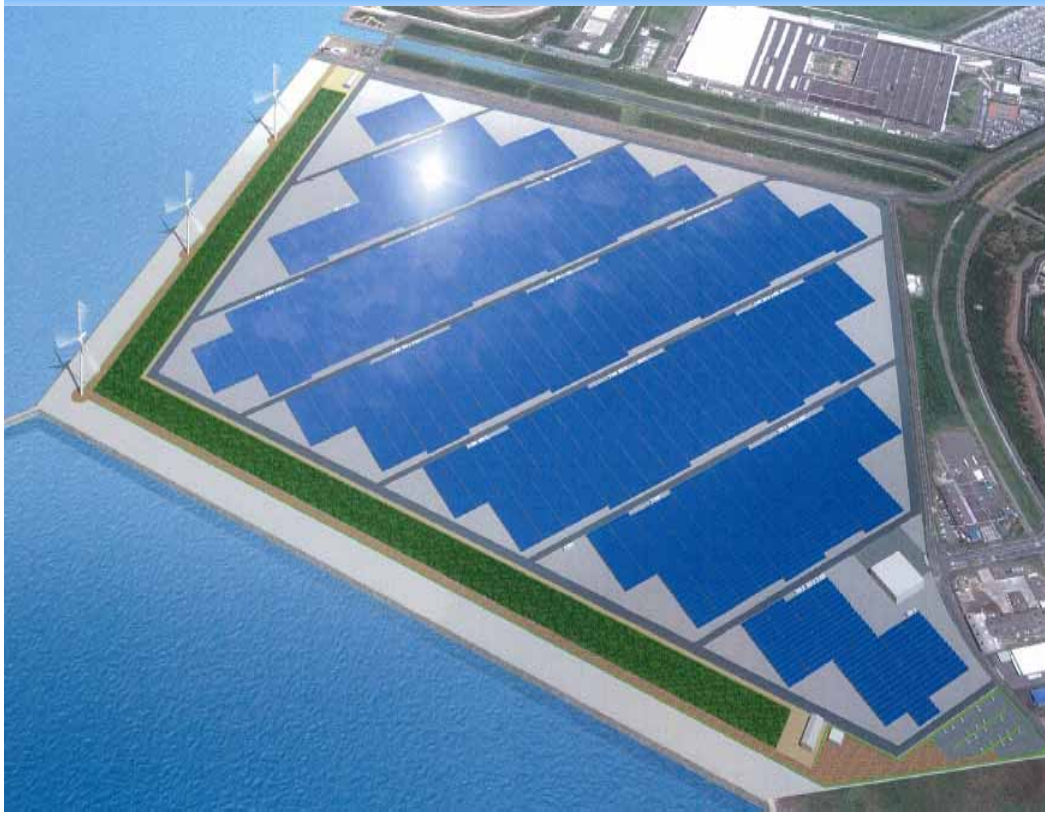


◀「ルーカント」
風力発電機の長
寿命化潤滑油



◀「タケネート」
セル用接着剤

【太陽光発電】田原メガソーラー計画(2)



(10/21 愛知県庁にて) 左から、
当社/田中社長、大村愛知県知事、鈴木田原市長



◆建設予定地の優位性

- ・日照時間 国内最高水準(2,100時間以上/年)
- ・平均風速 国内最高水準(平均7m/秒以上)
- ・至近距離に既設の特別高圧送電線

(参考)田原市は、11年日経サステナブル都市調査で、
全国1位にランキングされています。

商品	特徴	量産時期	パートナー
輝度向上フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 従来品比20~30%の輝度向上 液晶ディスプレイの高輝度化や省エネ、バックライト部材のコスト削減 	2012年 	液晶メーカー ELメーカー等
軽量反射フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 従来品比約70%の重量減を達成 パソコンやタブレット端末の軽量化 	2012年	
有機ELシール材	<ul style="list-style-type: none"> 高信頼性:有機EL素子へのダメージ低減 有機ELのロス低減、長寿命化 	2012年	村田製作所
高透明圧電フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 村田製作所、関西大学と共同開発 圧力や曲げ、捻りを感じることができる 3次元タッチパネルの実現 	2012年 	

’17年近傍 500億円の売上目標

熱線遮断フィルム

被災地の仮設住宅などに、
熱線遮断フィルム「**エクシアHB**」を
他社と共同で貼付、好評



「エクシアHB」

- ・赤外線を遮断し、可視光のみを通すため、室内温度の上昇を抑制する役割がある
- ・無粘着で、脱着自由
- ・可視光透過率:80%

安全性の高い殺虫剤

被災地でのハエの防除に、安全性の
高い殺虫剤「**レナトップ乳剤**」を散布
(当社社員によるボランティア活動)



「レナトップ乳剤」

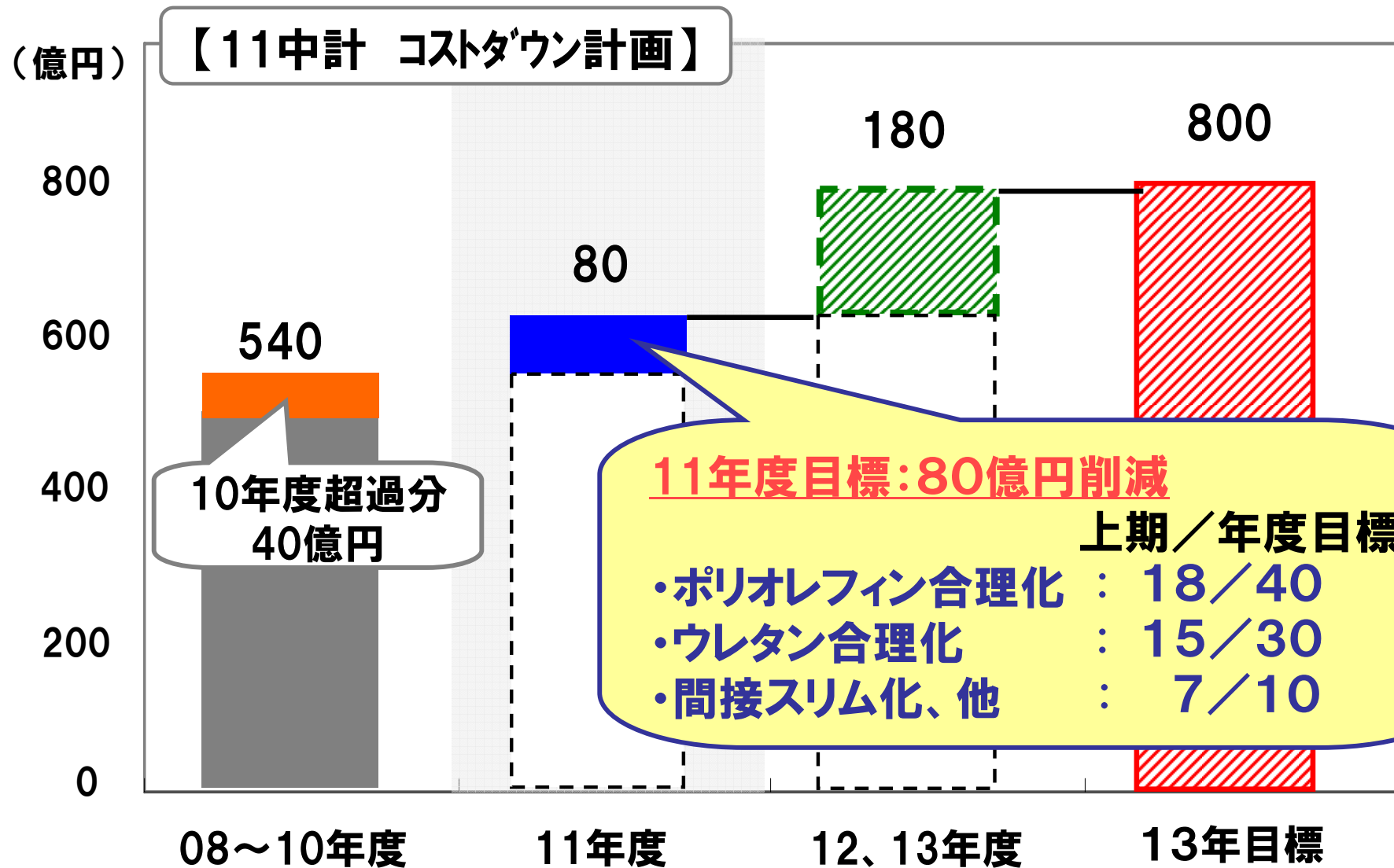
- ・ハエへの効果が高く、人畜・魚・鳥類への安全性が高い殺虫剤
(WHOで最上位の安全性に分類)

 アジアを中心にグローバルに
存在感のある化学会社へ 

- **業績説明** —
 - 1、2011年度上期決算と下期見通し

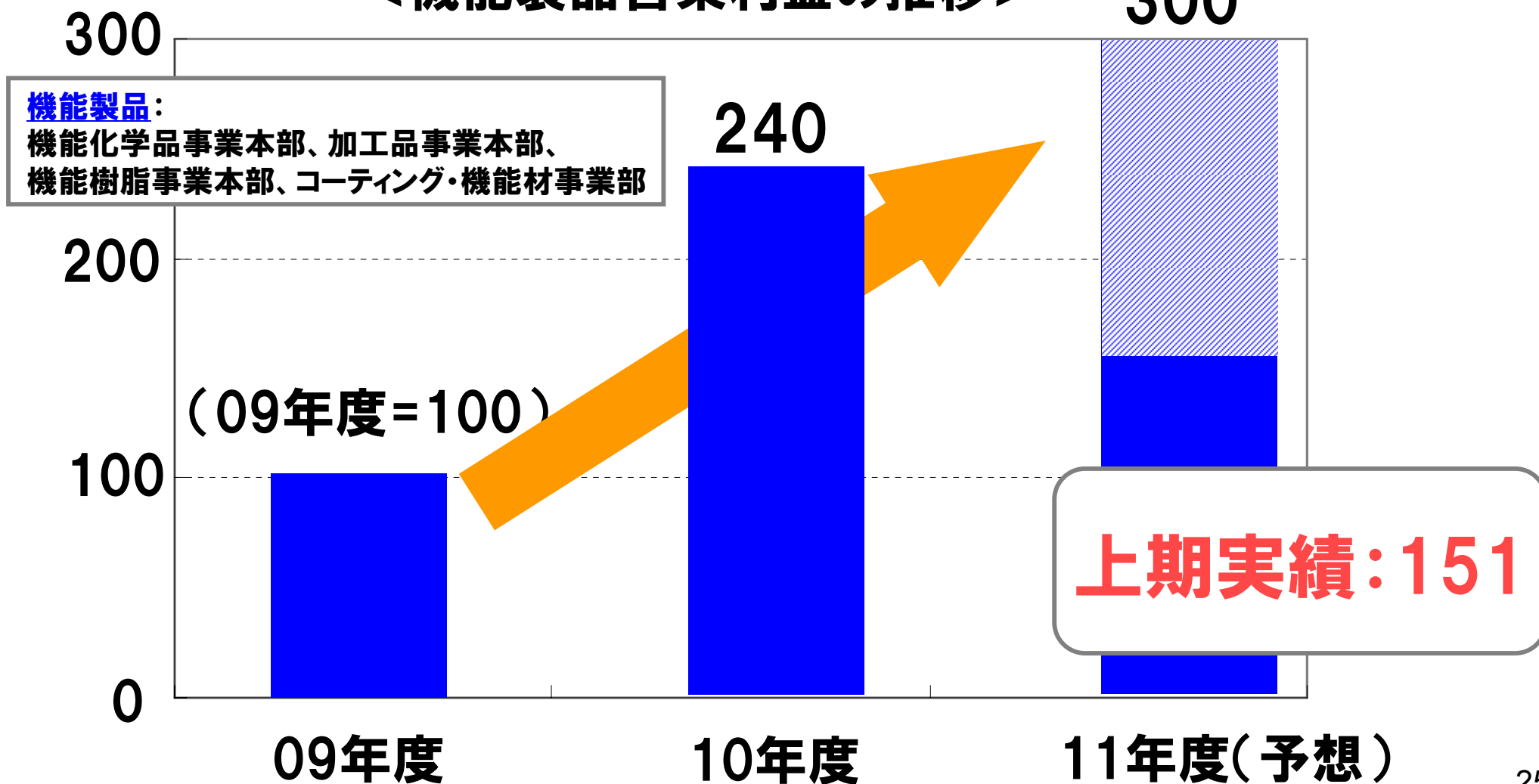
- **中期経営計画の進捗** —
 - 2、“5-5-5戦略”の進捗状況
 - 3、11中計達成に向けて

11年度目標コストダウンに向けて順調に進捗 (上期実績40億円)

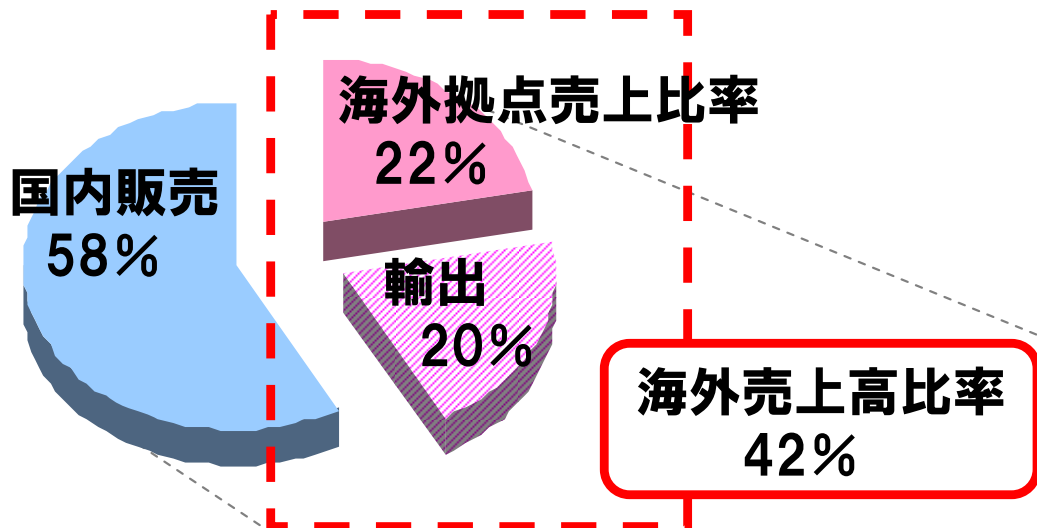


事業ポートフォリオの変革は順調に進捗

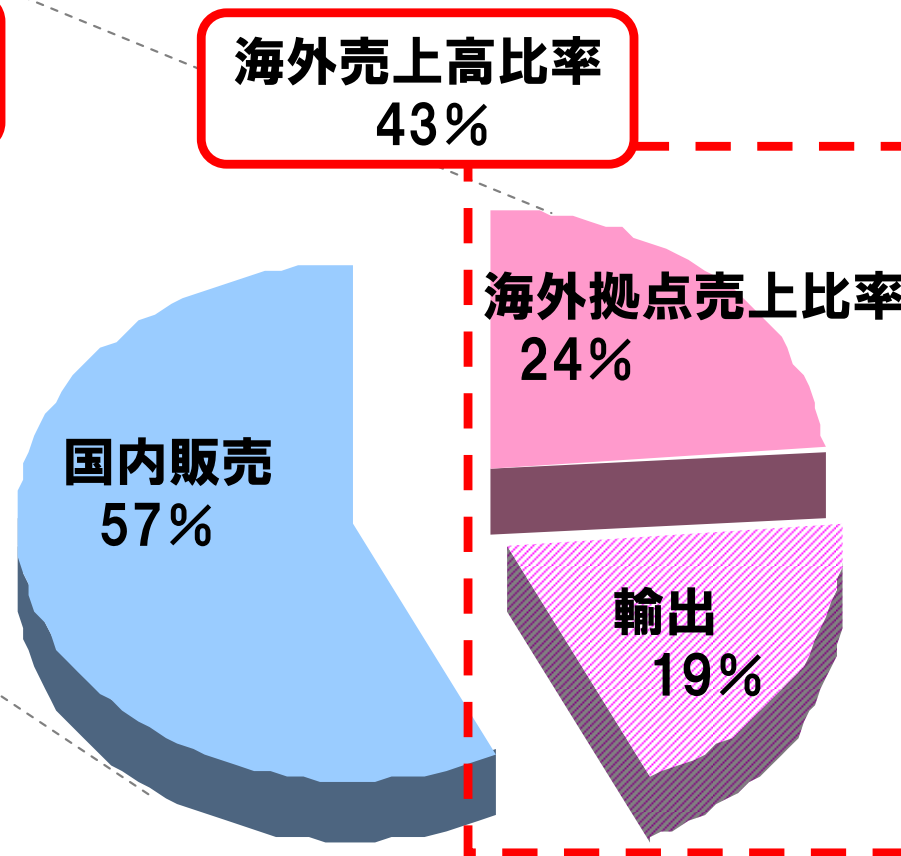
<機能製品営業利益の推移>



2010年度



2011年度(上期)



海外シフトを加速

- ① 海外売上高比率は42%から43%に上昇
- ② 海外拠点売上(現地化)比率は22%から24%に上昇

① 中国、欧州に続き、米州総代表を設置(11年6月)

- ・北米・中南米での事業拡大(PPコンパウンド、農薬など)
- ・新規事業の探索(シェールガスの動向とその展開)

② 三井化学シンガポールR&Dセンターを設置(11年6月)

- ・研究開発のグローバル化、頭脳の交流を図る

**③ タフマー事業の本社機能をシンガポールへ移管(11年4月)**

- ・事業経営をグローバルにスピードアップする



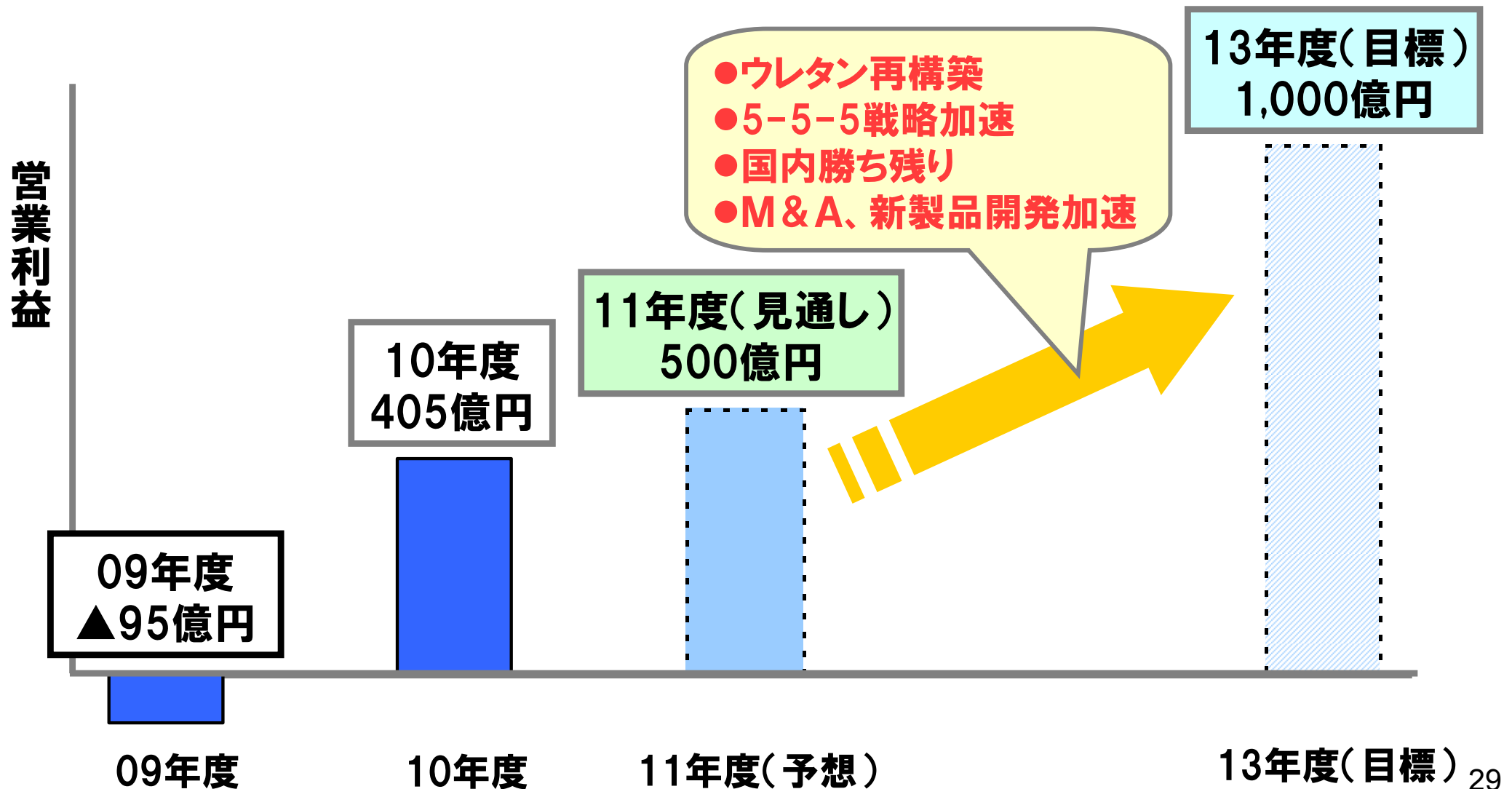
11中計達成に向けて

世界景気の不透明、歴史的な円高、新興国の金融引締めなど不安材料があるが、徹底的な拡販、あらゆるコストダウン、合理化前倒し等、更なる収益改善策を実行し、下期収益目標の達成を目指す。

環境変化を受け、11中計戦略の具体的施策を加速する。

11中計達成に向けて

景気変動を受け難いポートフォリオへの変革、
真のグローバル化の実現に向けて着実に進捗





MITSUI CHEMICALS, INC.

(完)

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。